

PRESENTED BY STUDIO TIAMAT

BREAK BLUE

"BLAZBLUE"
RESPECT BOOK
FOR ADULT ONLY



BLOOD EDGE



かはっ

か...



この俺を
殺してえんじゃ
なかったのかよ?



おいおい
だらしねえなあ
ジン?

っ...
強い...っ
一体なんなんだ
コイツは.....っ!?

この
程度の腕じゃあ
悪いけど
兄ちゃん——

殺されて
やれねえよ

は…

ははっ

突然 妙な姿の
ムラクモユニットが
現れたと思えば——…

貴様が兄さんだと…
それは一体なんの
冗談だっ!?

まさか
そんな戯言で僕の
動揺でも誘ってる
つもりなのか!!?

このふざけた
茶番の仕掛け人は
誰だ人形っ!?

ハザマかっ!?

それとも
レリウス・クロローバー
かっ!?

巡りの悪い頭で
いっばしに
吠えてんじゃ
ねえぞクソガキ

インターリ
ぶってんのは
外見だけか?

お:

が

まあもっとも
これだけ正史と
かけ離れた姿じゃ
疑うのも無理無えか...

あぐ...っ

だが手前えは
根っこのトコで
実感^みは持てるはず
だぜ...そうだろ?

ご自慢の
「秩序の力」は
俺を認識^みして
どう感じてる?



「ロード・E・O・S」
エンター・オウ・シエオル

な…!?

これは…
魔素…
いや違う…

き…貴様…
「罫」を召喚した
だと…っ!?

一体なにを…っ!?

オオオオ

「蒼の魔道書」
起動
きどう

これは…
「罫」だ…っ!?

俺達兄弟が
白黒つけるに
ちょうど良い
トコによ…

なにを?

勿論
連れて行くに
決まってるだろ?



うう……

ん……

う……



はっ!?



兄……さん……?

あれは……



それに……ここは……
あの時の教会跡……

まさか僕は……
「境界」を越えて
過去に……



!



な……なんだ……?
僕は確か……
「罫」に引きずり
こまれて……

この格好は
………?



うわあっ!?

う...

兄ちゃん
俺だよ♡

今じゃ中身の
無え死体だかな

そう



ユ.....え.....

まともに扱えねえ
アークエネミー
事象兵器なんぞ
避けるまでもねえ

そ...
その傷は...

ユキ...
アネサ.....?



覚えてっつたら
この傷?

忘れてる
なんつったら
2秒でブツ殺してる
ところだぜ...

そう
お前エがあの日
最後にブチ込んで
くれたものだよ

そ...そんな...
本当に...兄さ...

あうっ



ブツた斬られた
右腕同様
今も消えずに疼いて
しょうがねえんだ...

どれ...ちよっくら
舐めて紛らわして
くれねえかなあ...?

は...

あう...

ん...

れろっ...
んむ...

うぶっ!?

んく...♡

ん...

ん...

あや...
ん...

ちや...



0000



ふぐ...んう
...ん...

んん...う...



は...♡

ハハ...♡

なんだろ...
いいなコレ...♡

はるはる

ゾクゾクすらあ...♡



ハハハ



兄ちゃんの
おっぱいに顔埋めて
おっ勃ててんの？

キメーんだよ
クソガキ



ムク
ムク

...なに
お前？



ケホッ

ケホッ
ケホッ

ガッ
ガッ

ガッ

こりゃあ
仕置きがいるな...

ぬら

あは♡
弟の租子♡
発けっ♡

歳相応に
ほっかむりやがって
カワイイもんだな？

う...
うああ...っ

おい
なに隠そうと
してんだよコラ？

シラけさせんじや
ねえよ

あ...や...
やだ...あ...

え...

ええ!?



あの赤毛の女とか
どうなんだよ?

ツ…
ツバキとは…
あう…

そんな…
関係じゃあ…



っせーな
男が女々しい声
あげてんじや
ねえよ

「イカルガの英雄」様
ともなればヌイてくれる
女の一人や二人居る
だろうがよ?

ああ…
ひう…

や…やめ…
そこ…あ…



ヒラヒラ

やめてだあ?
弄るたびにチ○コ
硬くしやがって
もっと勃たせて
やっからせいぜい
ヨガれや♡

あああ…や…
やめ…て…

あ…っ
うああっあっ!!



い…痛い
いた…!?

やめ…痛い…
ああ…ひああ…!!



なんだよ…
つまりは手前え
童貞かよ?

なんとも
つまらねー
野郎だー

なつと!!



案外マゾの素養
あるんじゃないかねえのか
お前さ？



これからお前エを
 蹴り殺すにあたって
 どんな無様な死に様を
 くれてやろうか実は
 まだ決めてなかったんだ...

おっぴん...

オラ
 休んでんじゃ
 ねえよガキ

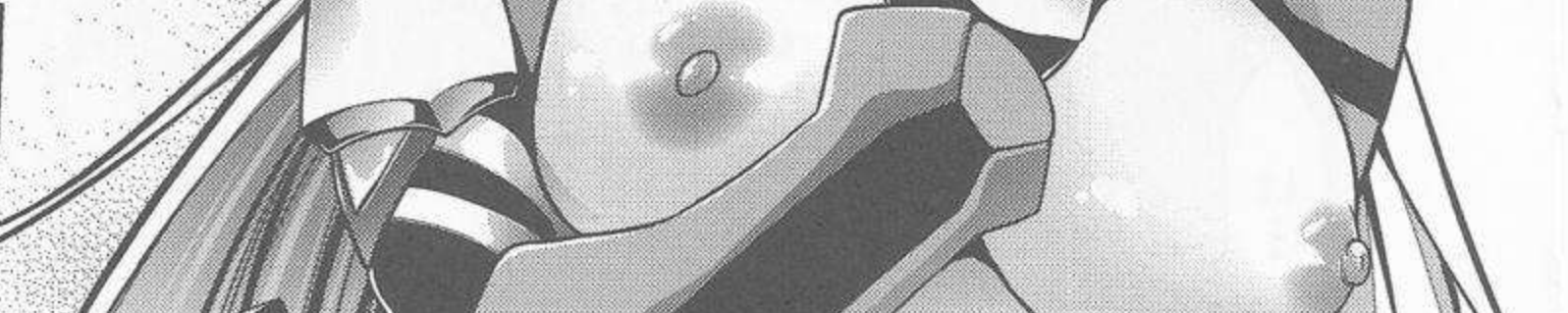
うあ...!?



兄弟のよしみで
 童貞だけは卒業
 させてやるよ♡

んで
 考えた結果...

アへ顔晒して
 腹上死つてのも
 面白そうだよなあ?



え...? へ...?



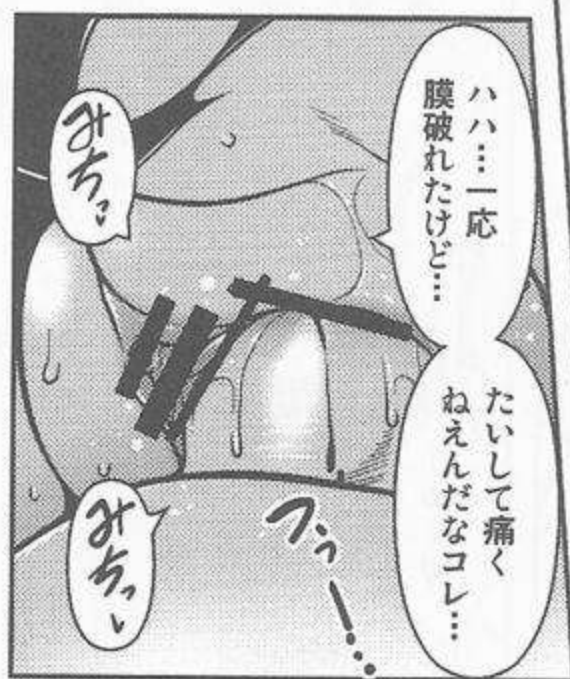
そろそろ
 いっただっき
 まゝすつてな♡

うあ...
 え...ええ!?

ま...待って
 あ...やあ...っ

ぬぬぬ...

ぬぬぬ...



俺はな…
ここで死んで
魔道書に魂を
喰われたんだよ…

え…?

喰われた魂は
「境界」を通じて
「蒼」に還元される…

あそこは
「現在」「過去」「未来」
あらゆる「記録」が
寄り集まってるところ
だからな…

半端な自我は
簡単に溶けて
消える…

自我を
繋ぎ止める為に
必死で魂の中に
かき集めたよ…

ラグナ・ザ・ナラッドエッジ
手前自身に
縁のある「記録」
をな…

とりわけ
「次元干渉用素体」との
縁が強かったんだろう…

その影響でこんな
身体の出上がり
ってワケさ…

あう…

なんだよ…
生意気にも
反撃のつもりか？

単におっぱい
吸ってる程度じゃ俺あ
イかせられねえぞ…？

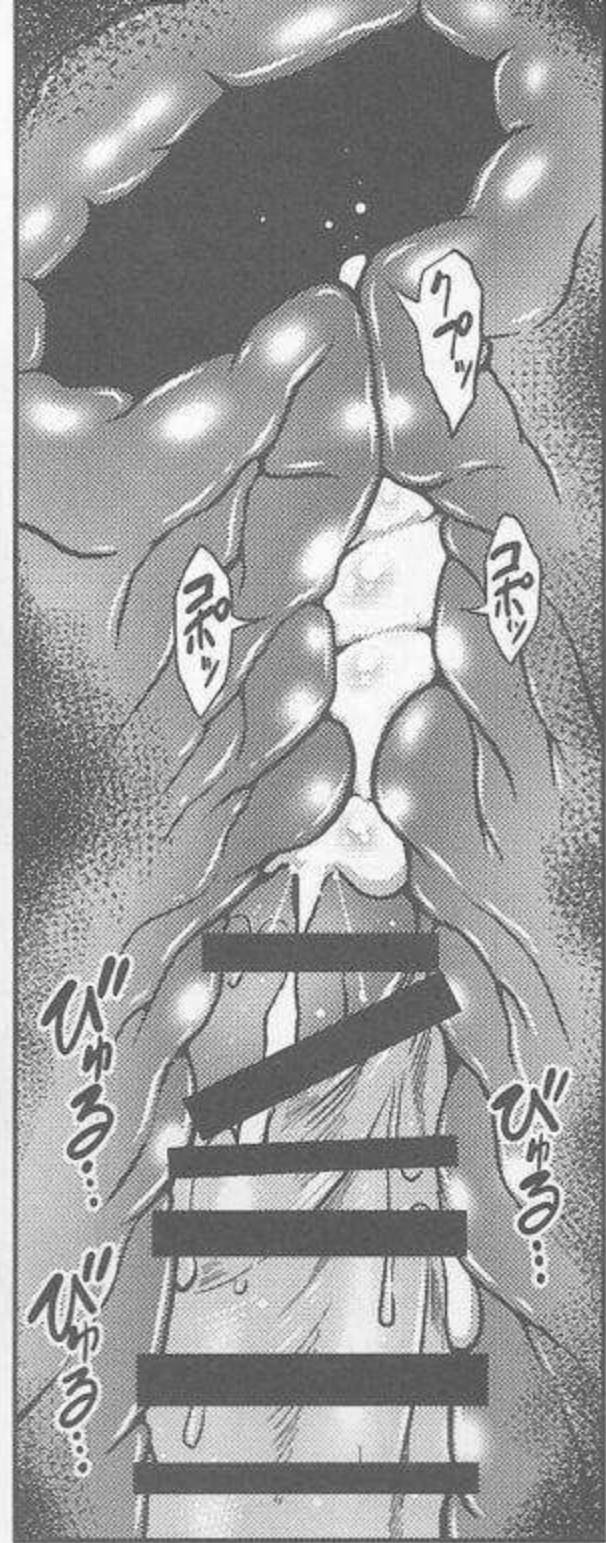
おう♡

逆に手前エの
租チンをイカせて
やるよっ♡



殺してえ程憎い
兄ちゃんの膣内
不様に果てちまえっ







最初兄さんは弟妹を
平等に愛してたかも
知れない…

でもいつの間にか
優先順位が出来て僕が
二番目だって気付いたら…

なにがなんでも
僕だけを見て…僕だけの
兄さんでいてほしいって
思ってた…それで…

手前え…
馬鹿か…?

んな理由で
殺されちゃあ
堪んねえ…って
言いたいトコだがよ…

要するに
俺は—

自分が思ってるほど
良い兄ちゃんじゃあ
なかったって事かよ…

兄さん…?

なあジン…
それは
こんな俺でも
良いのか…?

実際のところ
この身体はあの
アラクネ
蟲野郎と同じだ…

一度「境界」に溶け
色んなモノが
混ざり合ってる…

今の行為になんの
抵抗も感じないのは
混ざり物ゆえに精神も
どっかブツ壊れてるから
だろう…

え…?



憎まれて
弑り殺されたきや
そうしてやる...

本当に望むなら
とことん殺り合って
やる...

俺の自我を支えたのは
「お前と決着をつける」
という妄執だけ
なんでな...

今となつては
俺はお前を憎んで
ここに居るのかさえ
判らねえ...

ここへ来る前の
俺の言葉を
覚えてるかジン?

ここで兄ちゃんを
孕ませる事だつて
させてやるよ...

ピ
カ...

うぐ...っ

びく...

ア...



僕が...
兄さんを...?

は...
孕ませる...?



それが...
僕たち兄弟の...
決着.....

今ここで種付けして
見事お前の花嫁に
してくれよ...♡



ああ...お前の
本心からの望みと
正面から
向き合う...

それでしか今の
俺はお前と決着を
つけられねえ...

だからもし
俺を手前えだけの
ものにしたって
なら.....



んあ…

ほら…
もっと舌
出しな…



僕…
嘘みただい…

兄さんと…
キス…してる…



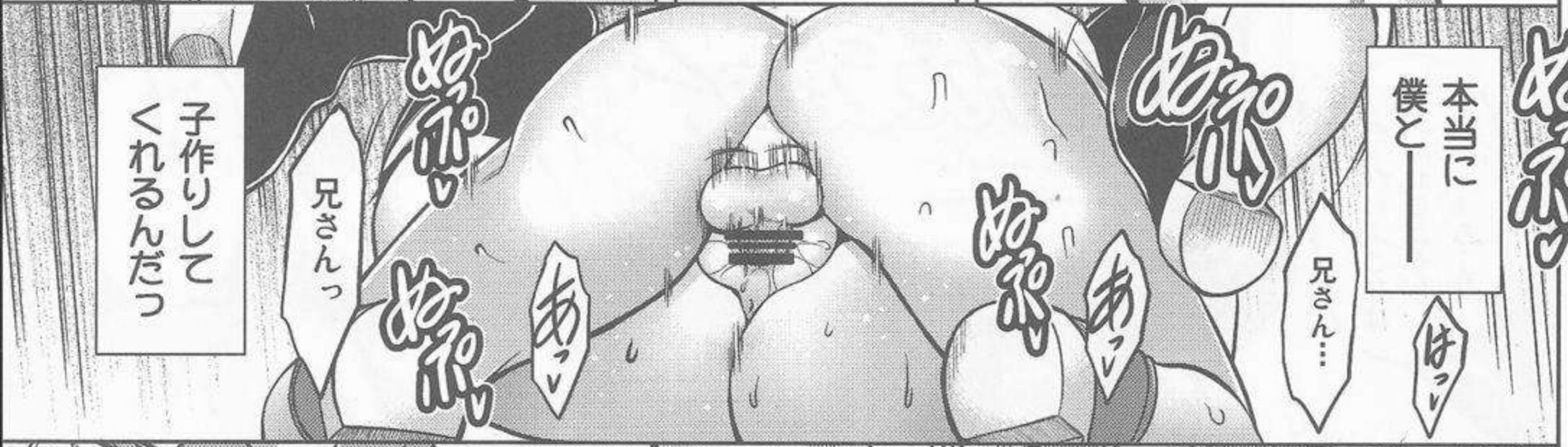
ん…♡

ん…♡



優しく
吸ってくれる…

兄さん…
本当に僕と…



本当に
僕と…

兄さん…

子作りして
くれるんだっ

兄さんっ



…まあ
やる気は買う
けどよ…

イマイチ挿入りが
浅くて膣奥まで
届かねえんだよな…

これじゃいくら
膣内射精しても
当たらねえよ…



んく…♡



え…あ…

…ごめん
兄さん…



あ...
んう...

ん...

あは...
いっしょ



俺がなんとか
してやっから...

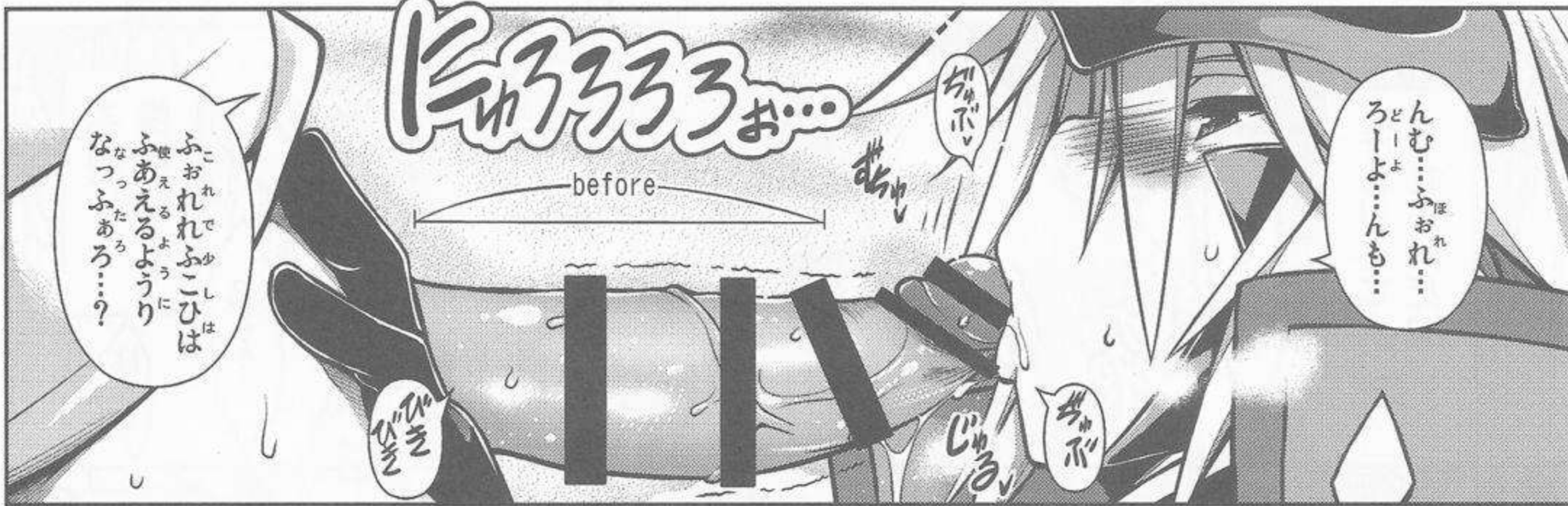
ん...
心配すんな...

れい...



ふあ...
あ...っ

に...兄さん...
それ...すこ...♡



びびびびびお...

before

んむ...ふおれ...
ろいよ...んも...

ふおれでふおれは
ふあえるように
なっふあろ...?



あはあし♡

んは...
ああ...っ



よし...
来いよジン...
仕切り直した...

しん...

う...うん
兄さん...



それに…
熱くてオチ○チン
溶けそう…あ…

うあ…兄さん…
すごい締め付け…
だよお…っ



いくらでも
チ○コ蕩けさせて
やるよ…っ

は…遠慮せずに
ガンガン突いて
きな…っ



これが…
兄さんの子宮
なんだ…っ

さ…先っぽに
プリプリ
当たってる…



あ…アハ…♡
す…すげえな…
コレ…んっ♡

さっきよりも…
ん…膣肉…圧し拵げ
られてら…んはっ♡



いっぱい…
いっぱい…
膣内射精して…

僕…絶対…
孕ませるから…

兄さんを
ポテ腹にして
僕だけの花嫁に
するからあ…っ





ごめん...でも...
せっかく兄さんと
こうなれたんだもの...

兄さん...
すごく甘い声に
なってる...

ん...ったく...
真性の甘えたがり
が...うんう...♡

僕ので...
感じてくれる
んだ...

バ...っ
き...聞いてんじゃ
ねえよ...んなの...

兄さん...
ん...♡
兄さん...っ♡



良いぜ...
来なよジン...

うは...♡
あ...イ...
いくのか...?

ダメ...
射精ちゃう...

兄さん...
僕...もう...

俺...もう...
出来てっから...

弟の子供
孕む準備...
出来てっからあつ♡

兄さん...

兄さんっ

兄さあんっ



あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー

あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー
あーあーあー



ったく…
やるだけやって
即オネンネかよ…

童貞捨てても
やっぱ
ガキは子供か…

オ…

オ…

オ…



こくうじんおうぎ
虚空陣奥義

…なあジン

俺はさ…



…

雪風

ユキカゼ

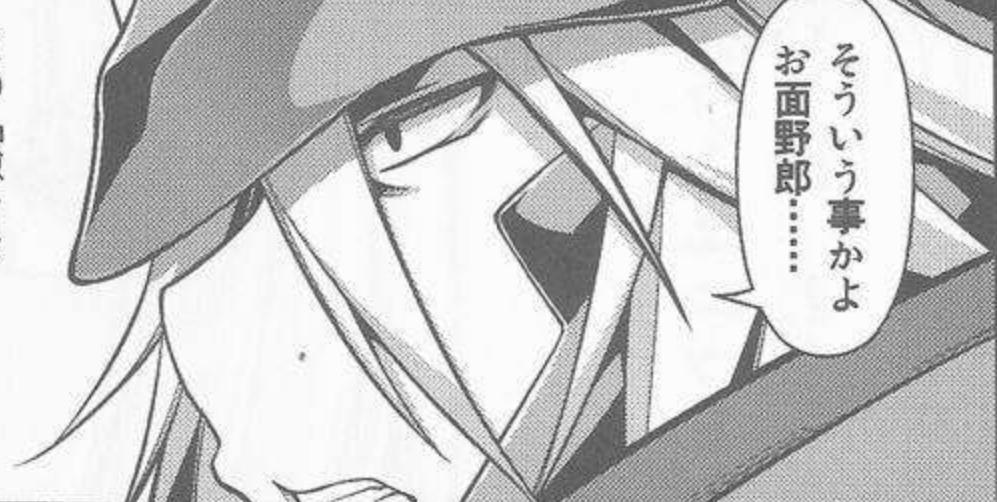
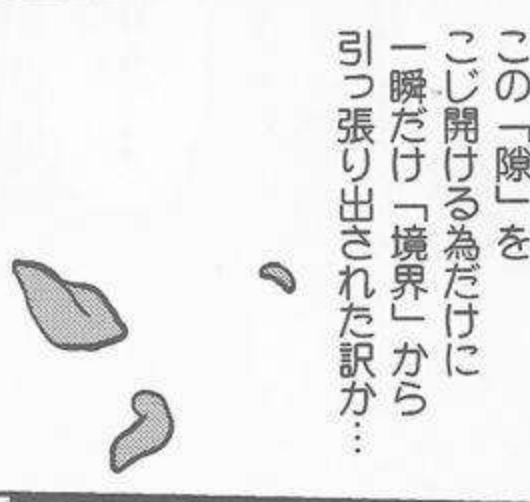
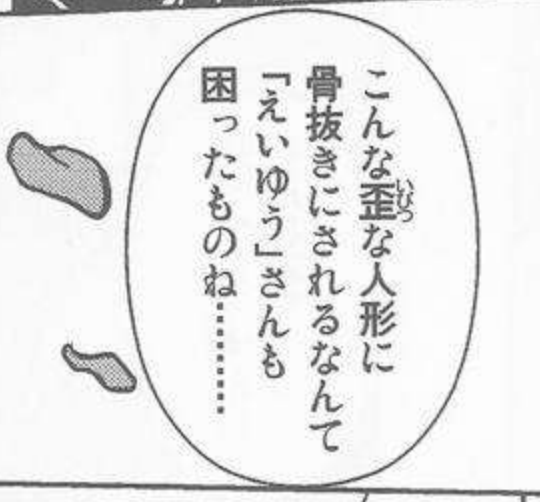
ひ

獲^とれ

ヴァルケンハイム

手前え……っ

……っ



あん？

貴女がここで
絶命したラグナだと
言うのなら――

その事象はとっくに
タカマガハラに
初期化されてるはずよ？

すでに紡がれる事の無い
歴史を観測するなんて
そう出来るものではないわ

知ってどうすんだ
そんな事？

^{みかど}
帝か……

マスターユニットを
除いては……ね？

はっ

千年以上
「外」から世界を
観てきたって
割には――

チンケな
想像力だなあ
ウサギ……？

貴女……

まどか……



ヴァルケンハイン
貴方にも…

それより
手当てが要るわ…
「えいゆう」さんは
勿論

放って
おきなさい

……
追いますか？



!

バ
ン
ン
ン



問題はあれを
どうにかするのは帝も
マスターユニットも
不可能という事よ



さあ…
それは問題では
ないわ



あれは本当に
あの小僧
なのですか？

一瞬とはいえ
ハクメン殿の奥義を
正面から受け捌き私に
追撃を届かせるとは…



それも
「今のところ」は「どう
話でしようけど…」



そんな…
そのような規格外を
放っておくと…？

観測者が私の
思う通りの者なら
心配は要らないわ

そいつには恐らく
「正史」をどうこうする
度胸なんて無いと
思うから…



もっとも
…



BREAK BLUE BLOOD EDGE

発行元:STUDIO TIAMAT

著者:TANABE

発行日:2014/08/17

印刷所:共信印刷

mail:tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp

URL:http://studio-tiamat.sblo.jp/



The background of the cover is a detailed illustration of a character's face and upper body. The character has long, spiky white hair and is wearing a dark grey or black outfit with large, rounded, light-colored (pinkish-white) shoulder pads. The character's eyes are closed, and there is a small, glowing green square on their forehead. The overall style is anime-inspired with a focus on character design and shading.

PRESENTED BY STUDIO TIAMAT "BLAZBLUE"
BREAK BLUE RESPECT BOOK
FOR ADULT ONLY

BLOOD EDGE